

5の1 国語科学習指導案

6 / 2 2 (水) 3限
5の1教室 濱名 秀晃

1 単元名 筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを伝えよう ～見立てる／生き物は円柱形～

2 単元のねらい

文章構成や表現の工夫に着目したり、要旨をまとめるためのキーワードを見つけたりしながら、筆者の意図を捉えながら自分の考えをまとめることができる。

3 単元でめざす学ぶ楽しさ

文章構成や表現の工夫に着目しながら 筆者の考えの進め方を友だちと対話しながら気づき合うとともに 自己の学びを豊かにしていく楽しさ

本単元は5年生になって最初の説明文である。4年生の説明文では、初め・中・終わりの双括的な文章構成を学習したり、事例や図・写真を用いた説明文を学んだりしてきた。本単元では、筆者がどんな文章構成や表現の工夫のアイテムを使って、どのような効果を筆者が意図しているのかを読み取らせたいと考える。

そこで、単元を通した読みのめあてを「筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えをクラスの人々に伝えよう」と設定した。読みのめあてを達成するためには、要旨をつかみ、筆者が何を伝えたいのかを読み取っていく必要がある。筆者の考えを理解することで子どもは筆者の説明の工夫に迫っていけると考える。

本文を文章構成や表現の工夫などに着目しながら読み取ることで、筆者の説明の仕方の順序を明らかにしていく。また、その工夫の効果を子どもに考えさせることで読み手に伝わりやすいように説明していることにも気づかせていきたい。また、友だちの意見につながりをもちやすくするために相互指名を取り入れたり、子ども同士のかかわりから問いや疑問を取り入れたりしながら学級全体の学びを広げていきたいと考える。

本単元を次の説明文の教材へとつなげるために説明文のアイテム宝箱をまとめる活動を行う。学習の履歴を残すことで、これからの学習も意欲的に楽しんで取り組むことができると考える。

4 単元計画 (総時数9時間)

主な活動と内容	学ぶ楽しさを味わうための手だて
1 「見立てる」を読み、学習の見通しをもつ (3時間) ○単元名、教材名から単元の見通しをもつ ○全文を読んで文章構成をとらえる ○文章の要旨を60字以内でまとめ、筆者の考えやその進め方をつかむ	(1)言葉との主体的な対話を促す 「生き物は円柱形」を学習する前に「見立てる」とはどんな文章構成や表現の工夫になっているのかということを意識させることで二次の学習に取り組むことができるようにする。
2 「生き物は円柱形」を読んで要旨をまとめ、段落構成や文章構成や表現の工夫をとらえる (4時間) ○文章全体の構成をとらえ、「中」の書かれ方を読み取る ○文章の要旨を150字以内でまとめる ○説明の工夫を見つけ、その効果について考える (本時) ○説明文のアイテム宝箱にまとめる	(2)他の考えとの協働的な対話を促す 一人学びしてきたことを友だちと考えを広げられるようにペア学習をしたり、全体発表では相互指名で似ている意見を発表したり、子ども同士のかかわりから生まれる疑問を発表したりすることで交流しあえるようにする。
3 筆者の考えやその進め方をとらえ、自分の考えを書き伝え合う (2時間) ○筆者の考えに対する自分の考えをまとめる ○自分の書いた文章を伝え合う	(3)自分の学びとの省察的な対話を促す 筆者の考えに対する自分の考えをまとめ、自分の学びを友だちと交流し合い、自分の学びをふり返れるようにする